

ひまわり通信

SSKS
No.85



第12回通常総会(通算23回)無事終了しました

理事長 隅 一 清

今年も無事、通常総会を終える事が出来ました。平成二十九年度は役員改選の年ではないのですが、今年二月に、新年度から、会計を担当する予定の理事が、体調不良の為に辞任してしまい、今迄二十三年間会の会計を担当して来て頂いた亀井さんも一昨年から、町会長を受けているので、継続は出来ないとの事で、最悪の状態に陥りました。

加えて今年からの会計報告は、NPO法人のソフトを購入して、会計士も専門の人に依頼しようとしていたのです。

総会は六月末なので、取り敢えず毎日のドライバードイブのコーディネートを依頼している私の娘(石井啓子)と榎村さんに会計をしてもらう事にしました。

十二回通常総会は、今年もがやがや館で十時三十分から始まり、議長は、実井さんをお願いしました。第一号議案の事業報告から第五号議案の二十九年度予算案まで無事承認されました。来賓の区議板井氏や高久氏等にお祝いの言葉を頂き総会は無事終わりました。

恒例の懇親会は三階のレストランに移動して折からの都議選で区内を遊説中の栗林議員がお

見えになり、ご挨拶を頂き、開宴しました。

今年はシエフが変わったので、昨年とは違った料理がテーブルに並びましたが、参加者の皆さまには、好評でした。

恒例のアトラクションは、会員の林さんが、毎月お仲間と、ボランティアアセンターで先生の指導で、踊りをしているとの事で、無理にお願いして踊って頂くことになりました。今年度の助成金も、会の車両が増えた事で、

平成29年度役員名簿

理事長	隅 一 清	(ひまわりの集い・移送事業総括)
副理事長	宇津木雅之	(移送サービス担当)
理事	加藤 衛	(ひまわりの集い・書道教室担当)
	榎村 兌子	(会計担当)
	石井 啓子	(コーディネーター・会計)
	高橋 千恵子	(利用者)
	杉田 春義	(身体障害者福祉協会会長)
	実井 茂人	(サニーケアサポート代表)
	望月 昭夫	(介護タクシー)
	土方 貞久	(医師)
監事	見 芳 房	
	松 宮 丞二	(移送サービス担当)
顧問	佐藤 裕美子	(松原あんしんすこやかセンター)
	伊藤 恵美子	(秋藤ケアサービス)



その経費分が多少増えただけで六月上旬、半額が振込まれました。
ドライバールの不注意による車両破損事故が多く修理代等にかかりの費用がかかり資金繰りがかなり厳しく、新人の会計が悲鳴を上げています。お陰様で福祉有償移送事業の方は、今の処順調に推移しています。
七月中旬に開かれた、運営協議会も無事終了更新も出来ました。また今年も安全、安心の移送を心がけて頑張りたいと思います。

車イスを二台頂きました!

六月十六日(金)に品川区荏原にあるひらつかホールに於いて、映画TWILIGHTFILM Eシリーズの「くらわんか」の出演者の舞台挨拶と記者発表会とプレミアム上映がありました。事前に東京善意銀行さんより、舞台の上で、目録贈呈式に出て目録受けとり後に、挨拶をして下さいとの事でしたので、それなりの心構えはしていたのですが…。若い女性ばかりが四百人位いて、舞台には、俳優の川崎麻世さんや、乃木坂46の市来玲奈さん等が十五、六人と映画監督さん達が、記者会見をしたり、撮影時のエピソード等を披露したりしていました。

いよいよ、福祉目録贈呈式になり、舞台中央に出たとたんに、頭が真っ白になってしまいました。連協等の行事で、区民ふえすた等で何度か舞台には上っていますが、ふえすたの場合はほとんどが身内といった感じなのであまり緊張感がありません。

挨拶の途中で、肝心の寄贈元の映画製作会社の名前が出てこなくなっていました。後にいた若い俳優さんが「おじさん落ちついて!」と声を掛けて頂き、万が一の場合と?ポケットに入れておいたカンニングペーパーを見て、無事お礼を言う事が出来ました。

八十うん才になって貴重な経験をさせて頂き、感謝しております。

七月上旬に一般公開されていますので、皆さんも、機会があったら、観て下さい。



贈呈式会場スナップ



区からリクライニング車イスを頂きました!

区から平成二十九年度福祉施設等支援事業の一端として「防災対策の為の準備」として三十万円以下(自己負担金を含む)の助成金がもらえる事になり、発電機や食器、持ち運び用スロープ等の中に車イスがあったので、高価で永年購入出来なかつたリクライニング車イスを申請しました。七月末に申請が認められて、八月中旬に入荷します。

これでストレッチャーもありますので、鬼に金棒の備えになりました。



ひまわり句会

菅野孝夫 選

つじ咲く高原バスの停留所
 男体山を見下ろす峠 辛夷咲く
 上野の夏バンダバンダの幟旗
 滝風のジヤストミートや宿の窓

宮沢みどり

飯場前ラジオ体操春紫苑
 水玉の切子茶碗や盆手前
 竹垣の四五本朽ちて蜘蛛の糸
 橋の下くぐつて行きぬ黒揚羽

大谷のり子

新聞の兜と刀端午の日
 藤房をゆらす風あり姉とゐて
 さくらんぼさつと洗つて供へけり
 真夏日や家にもりて茶を立てて

小田原郁代

落を煮る指の先まで匂ひけり
 椀を取りや子らを手伝ふ夏蜜柑
 千代さんの家は静かに柿若葉
 北斎のすみだ美術館夏帽子

亀井歌子

小粒でもしつかりと味蛭汁
 満開のつじの赤のうとましや
 五月連休置き去りにされて私は何
 母の日の娘の鮎やあと何回

小松原錦子

事業報告

◎富士花鳥園

五月二十日(土)

五月の日帰りバスハイクは、富士山の麓にある、フクロウとベコニアの花で有名な、富士花鳥園に行きました。下見に来た時は、折からの本栖湖芝桜祭りの最盛期だったので、河口湖ICから、ほとんど渋滞の連続でしたので、心配しましたが、意外とスムーズに到着しました。フクロウを見たり、満開のベコニアの花の下で食事をしたり、午後からは、池のそばにある野外ステージで、フクロウのショー等も見学しました。足元が悪く車イスの方で何人かが見学出来なかったのは残念でした。

参加者 二十五名



◎日帰りバスハイク七月 玉原ラベンダーパーク

六月二十三日(日)

玉原ラベンダーパークは、沼田ICから山に入り迦葉山の山麓にあるスキー場で東急グループが経営しています。付近には玉原湖や玉原湿原など、ハイカーには人気のある所です。夏はスキー場に花を植えて、リフトで登ってラベンダーを鑑賞してもらおう様にしています。下見の時は開宴一週間後だったので何も無く閑散としていましたが、本番当日は花も多少は開いていました。中腹には黄色い花のニッコウキスゲが見事でした。ここでは昼食の予約が出来ないので、世田谷区の健康村として協定を結んでいる川場村の道の駅の中にある、ビアガーデンで群馬県の地場産業が育てている、ギンヒカリ(マス科)の刺身とフライを食べました。地ビールも美味しく頂きました。地元野菜も安く購入出来ました。普段は午前中に無くなってしまうとの事です。雨を心配しての旅だったのですが、降られたのは、ホンの少しでした。

参加者 二十七名



予告 運協主催

九月三日(日)
 四日(月)

福島施設見学会の旅

今年で三年目になりますが、今年も施設見学会を行います。

まだまだ復興にはほど遠く、除染が終って帰還地域になっても、帰ってくる人がいない村が多くあるとの事です。

今年も、福島県に旅行会社を通して行くと、一人三千円の補助金が出るとの事なので、申請を進めています。宿は昨年と同じ「かんぼの宿いわき」です。今回は、「あぶくま洞」も見学する予定です。皆様お誘いあわせてぜひご参加下さい。

記

◎日時 九月三日(日) 四日(月)

◎目的 福島県内の施設にお見舞金を渡す
 世田谷区役所発→首都高速道→常磐自動車道→小野町→あぶくま洞見学→かんぼの宿いわき(泊)
 (写真参照) 施設見学→帰路

◎会費 一人一万円(宿泊代のみ)

*二日間の昼食代は各自負担です。
 都の助成決定の場合は七千円



昨年の見学会のスナップ

行事予定

九月 日帰りバスハイク

市原ぞうの国とドイツ村

市原のぞうの国は、裏山全体が動物園になっ
 ているいろんな動物がいるのですが、高
 齢者や車イスでの見学は無理なので、広場で行
 われるぞうのショーを見学します。

五、六頭のぞうが、絵を描いたり、曲芸を
 したりします。ショーを楽しんだ後は、また
 バスに乗って、ドイツ村に行きます。

ここでバーベキューのお昼を食べます。

◎日 時 九月十日(日) 九時出発

◎行 程 野沢↓川崎殿町(下)↓海ホテル

↓圏央道↓市原鶴舞↓ぞうの国

↓(見学) ↓ドイツ村(昼食)

↓湾岸市川↓大井↓三軒茶屋

↓野沢

◎会 費 一人七千円(送迎料別)

*参加希望者は八月末までにお申込み下さい。



ぞうが描いた絵です



秋の研修旅行

一泊二日

十月二十八日(土) ~ 二十九日(日)

秋の新潟津南の旅

今年の秋の研修旅行は、前にも利用した高
 原リゾートホテル、ニューグリーンピア津南
 に宿泊します。秋の紅葉を楽しみながらの旅
 になると思いますので、ぜひご参加下さい。

◎日 程 十月二十八日(土) ~ 二十九日(日)

◎行 程 一日目 野沢↓練馬↓関越自動

車道↓塩沢石打IC↓

清津峡見学↓津南↓

グリーンピア津南

二日目 津南↓小布施町↓菅平

↓上信越道上田菅平IC

↓佐久↓藤岡↓練馬↓

野沢

◎会 費 一人 二万円

*チャリティ協会の割引を使用しますので、

締切りは九月末です。

*人数は二十名位を予定していますので、マ

イクロバスを使用します。



編集後記

今年の四月から、会の車両が八台になったの
 ですが、三台は、事務所のあるマンションの駐
 車場にあり、他の五台は駐車料金の安い狛江や
 仙川や入間町の方にあります。

ドライバークの移送コーディネートの他に車両
 の振分けも毎日必要になります。これがまた大
 変で、毎日確認しないと、ドライバークが駐車場
 に行ったら車両が無かったとか、入間町に行
 ったに行かないで、野沢の駐車場の車で移送に行
 ってしまった、後の人が乗る車が無く、利用者に
 詫びたり…。それが私が地方に行っている時等
 にかぎってトラブルが発生します。夜などは利
 用者さんからも連絡が入り、二十四時間が抜
 けません。移送事業は、無理をしても新しい
 利用者さんを受け入れていないと、月間目標に
 達しなくなり、仕事が無くなります。

定期的利用者が多ければ、コーディネートは
 楽なのですが、七割は不定期な、それも、今日
 だの明日だの依頼が多く、特に雨の日は、突
 然の要望が多くなります。

ボランティア活動から始めて二十三年になり
 ます。頑張ろう！ S記

「ひまわり通信」85号

2017年8月23日発行

編集 特定非営利活動法人

編集責任者 ヒューマンハーバー世田谷

住所 世田谷区野沢3-4-18-102

TEL 03-3487-5081

FAX 03-3422-9281

発行人 障害者団体定期刊行物協会
 世田谷区砦6-26-21 (定価100円)